

マタイの福音書 第9章 9節

「イエスは、そこを去って道を通りながら、取税所にすわっているマタイという人をご覧になって、『わたしについて来なさい』と言われた。すると彼は立ち上がって、イエスに従った。」

道沿いに設けられた取税所で日毎に通行人から税を取り立てているマタイという人がいる。今日もいつも通りの仕事をこなす者がいる。ところが、その道を通るお方、イエスがマタイに目を向ける。旅する者が立ち止まり、仕事に精をだす者に眼差しを注ぐ。税逃れのため足早に通る者、法外な税を取る悪徳業者、仲間のユダヤ人からさえ裏切り者として嫌われていた者に目を留めるイエスがおられる。

その眼差しにとらえられたマタイがいる。嫌われ者に向く眼差しが語る。あなたにわたしはとイエスは語る。皆あなたを敵対視し、社会の隅に、心の外に置くでしょう。しかし、わたし、イエスはあなたに言うのです。「わたしについて来なさい」と。

すると呼ばれた者は立ち上がります。聞いたことのない声が聞こえます。悪口雑言ばかりを聞いてきた者が動転する声が全身に届きます。立ち上がるしかありません。立ち上がりこれまで歩いて来た道を去り、呼びかけてくださるイエスが歩かれる道に足を踏み出します。呼ばれるイエスに足を重ねます。

2023年8月10日